

相良小学校区で意見交換会を開催しました

市教育委員会の諮問機関である「学校再編計画策定委員会」が、令和2年10月22日、相良史料館にて、相良小学校区の方を対象とした意見交換会を開催しました。

この意見交換会は、学校再編計画策定委員会が、再編に関し、これまで検討してきた考え方を市民に示して意見を聴き、それを踏まえて素案をつくるために開いたものです。

目指す学校像、学校区、学校の場所などについての案と考え方を伝えたあと、市民ファシリテーターの進行により、参加者がグループワークを行い、さまざまな意見を出し合いました。

参加者からは、人口減少・施設の老朽化以外にも「広範囲で地域に触れることができる」「クラス替えができる」などの理由から2校案に賛成という声が聞かれました。また、人口減に歯止めをかけるような、牧之原市に引っ越ししてでも通いたいと思えるような学校を本気でつくってほしいという希望がありました。

質問としては、幼稚園・保育園も人数が少なく、老朽化も進んでいることから、幼稚園・保育園との連携はあるのか、再編したあと特別支援学級はどうなるのか、という声がありました。回答として、幼児教育と高校教育、高校卒業後との接続を考えながら小中一貫教育を進めていくこと、特別支援学級については「多様な子ども達とのふれあい」を重要視しているため、しっかり整備してもらうよう働きかけるということを回答をしました。

限られた時間の中ですが、参加者からたくさんの意見をいただくことができました。当日、時間の関係で回答ができなかったものも含め、質問への回答については、9小学校区の意見交換会の質問をまとめてホームページで公開していきます。



傍聴の方も含め、多くの方に参加していただきました



意見交換の様子



さまざまなご意見・ご質問をいただきました